

第45号

日置市ボランティアだより



■編集・発行 社会福祉法人日置市社会福祉協議会 ボランティア活動センター
 本 所 日置市日吉町日置 1132 番地 1 TEL099-246-8561
 東市来支所 日置市東市来町湯田 3264 番地 TEL099-274-6565
 伊集院支所 日置市伊集院町郡一丁目 100 番地 TEL099-272-2306
 吹上支所 日置市吹上町中原 2847 番地 TEL099-296-5257
 ★ホームページアドレス URL www.hiokishi-syakyo.com/



「あなたは何故、ボランティア活動に取り組むのですか？」

周囲からの問いに、あなたはへと答えるでしょうか。

ボランティア活動は、人から押しつけられたり、強制されてするものではありません。自分の意思で行うものです。しかしながら、自分のとる行動が、他者の生活にも影響を与えることになるということを理解していなければなりません。

少子高齢化が進む現代、公的なサービスだけでは対応できない住民の生活上の課題が生じてきています。そうした中、私たち自身がさまざまな課題を自分ごととしてとらえ、何らかの行動をすることによって、一人暮らしの高齢者等の孤独が解消されたり、子育て世帯が地域とつながりを持つきっかけづくりに貢献できるかもしれません。私たちは社会との関係の中で、ボランティア活動をはじめ、自分がとる行動に対して「責任」をもって、そして「意識」して行動することが大切であると言えます。

ボランティア活動センターでは、様々な講座等を通して、市民の皆様の活動を応援します！

ボランティア養成講座

平成29年度 開講中！

～身近な課題と向き合う～



今年度も、日置市社会福祉協議会主催の「地域のみんが主役！ボランティア養成講座(全6回)」がスタートしました。第1回(開講式)は、5月25日(木)に日置市日吉老人福祉センターで開催されました。

今年度で5年目を迎えるこの講座。過去の講座内容を踏まえ、今年は、ボランティアの基礎知識をはじめ、災害や精神障がい・認知症・傾聴などをテーマに取り上げ実施しています。今年度より、興味のある回(テーマ)のみの参加も可能としており、毎回、20人を超える方々が熱心に参加されています。

日常生活における様々な困りごとや地域課題を解決するためには、「自助・互助・共助・公助」の連携が必要と言われます。いつまでも住み慣れた地域で安心して安全に、そして「自分らしく」生きていくためには、まずは、自発的に自身の生活課題を解決する力である「自助」と、それぞれが抱える生活課題をお互いが解決し合う力である「互助」を育てることが先決です。

この講座では、地域の皆さん一人ひとりが主役となり、地域で活躍するボランティア「地域生活応援隊」を養成することを目的としています。最終日である第6回(閉講式)は、6月27日(火)14時から。テーマは「傾聴」について。全日程を受講された方には、閉講式にて修了証が交付される予定です。



●第1回「ボランティア」
 *今、地域で求められていること
 [講師 日置市社会福祉協議会]



●第2回「災害に備えて」
 *非常炊き出し体験他
 [講師 日置市社会福祉協議会]



●第3回「精神障がい①」
 *統合失調症について
 [講師 久木野美代子 氏]

今年度も新たなドクターが誕生！ おもちゃドクター養成講座

～壊れたおもちゃに新たな命を吹き込むボランティア～

日置市社会福祉協議会では、6月11日(日)、「おもちゃドクター養成講座」を日置市中央公民館で開催し、市内外からおもちゃの修理に関心のある方など8人が参加しました。

現在、毎月第2日曜日に日置市中央公民館等で「ひおきおもちゃ病院(前田純正院長)」を開院し、同院のドクターたちが壊れたおもちゃの修理(治療)をしています。

今回、そのひおきおもちゃ病院のドクターを講師に迎え、午前の部では、おもちゃ病院の概要やおもちゃの修理に必要な道具、また、おもちゃに内蔵されている電子基盤の仕組みなどについて、講義や実技を通して学びました。

そして、午後の部では、「おもちゃ病院体験」として、ドクターの指導の下、壊れたおもちゃの修理に携わりました。

参加者からは、「とても楽しい講座だった。今後、経験を積んで役に立てるようになりたい」との感想をいただきました。



★実技では、半田ごて等を使って、プリント基板の組み立てを行いました。



★病院では、ドクターと一緒に持ち込まれたおもちゃの修理をしました!



★無事に修理治療が完了して子どもさんもニコニコ笑顔!

●新規ドクター登録者6人(全登録者25人)

●ひおきおもちゃ病院開院のご案内

[日 時] 毎月第2日曜日 13時から16時まで(受付は15時まで)

[場 所] 日置市中央公民館・工作室



※7月・9月・11月は各地域も巡回します。

※お問い合わせは日置市社会福祉協議会本所(TEL099-246-8561)まで。

育てよう!子どもたちの『ものを大切に』『科学する』

防災袋や非常持ち出し品はすぐに取り出せる場所に保管しましょう!

災害に備えて

非常持ち出し品の準備はされていますか?



★防災袋は、避難の妨げにならないよう、コンパクトにまとめましょう!

大規模な災害が起きると、電気や水道、ガスなどが使用できなくなる場合や避難所での生活を余儀なくされる場合があります。また、道路の損壊などにより防災機関による救援活動がすぐできない可能性もあります。災害発生後の数日間には自足できるように、最低限必要なものは、各自で予め準備しておきましょう。

●非常持ち出し品リスト(一次持ち出し品)の参考例 ※避難の長期化も想定して、自分に必要なものを準備しましょう!

- | | | |
|---|---|--|
| <input type="checkbox"/> 非常食(カンパン、缶詰など) | <input type="checkbox"/> 笛やブザー(音を出して居場所を知らせる) | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ |
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> 上着 | <input type="checkbox"/> 新聞紙 |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備の電池) | <input type="checkbox"/> 下着 | <input type="checkbox"/> スリッパ |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備の電池や電球) | <input type="checkbox"/> 手袋(丈夫なもの) | <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> ろうそく | <input type="checkbox"/> レインコート/雨靴 | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ |
| <input type="checkbox"/> ライター(マッチ) | <input type="checkbox"/> 救急セット(キズ薬・ばんそうこう・解熱剤
かぜ薬・胃腸薬・目薬など) | <input type="checkbox"/> 毛布/アルミ製保護シート |
| <input type="checkbox"/> 携帯電話の電池充電器 | <input type="checkbox"/> 常備薬/お薬手帳 | <input type="checkbox"/> 家族の写真(はくれた時の確認用) |
| <input type="checkbox"/> ヘルメット(防災ずきん) | <input type="checkbox"/> 貴重品(健康保険証・身分証明証、母子健康
手帳のコピー、銀行の口座番号・生命保険契
約番号、緊急IDカード、印鑑等) | <input type="checkbox"/> 筆記用具 |
| <input type="checkbox"/> 万能ナイフ | <input type="checkbox"/> 現金(小銭:公衆電話用に10円玉・100円玉) | <input type="checkbox"/> 家族との災害時の取り決めメモ |
| <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー | | <input type="checkbox"/> 歯ブラシ/紙おむつ/生理用品 |
| <input type="checkbox"/> タオル | | <input type="checkbox"/> その他(予備のメガネ、杖など生活に
かかせないものなど) |
| <input type="checkbox"/> ビニール袋 | | |

自分自身がリラックスできるアイテムも必要です♡